

メールとFAXでタイムリーかつ確実な情報発信

## 森 町 商 工 会

機関名	森町商工会			
所在地	静岡県周智郡森町森20-9			
電話番号	0538-85-3126			
地域概要	(1)管内人口 2万1千人	(2)管内商店街数 5	商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 5	商店街	(2)会員数 116	商店
	(3)空店舗率 -	%	(4)大型店空き店舗数 0	店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

### 【事業名と実施年度】

平成13年度 活性化対策事業 オリジナル商品開発、情報発信  
総事業費 3,014千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

静岡県森町は、静岡県の内陸、中遠地域にあり三方を豊かな自然に囲まれていることから「三木の里」と呼ばれ住民に親しまれてきた。

町の中心には太田川が流れ、かつてはこの太田川を舞台に水運や秋葉街道の宿場町としてこの地域は発展した。

森町では、ここ数年間、「森町体験の里アクティ森」「森町文化会館ミキホール」「森北戸綿工業団地」など21世紀に向けた町の基盤づくりのプロジェクトが進められ、地域振興や文化、観光、産業などへの取組みが進められている。

一方で、商業は大型店との競争などから苦戦を強いられているのが現状である。今一度、商売の原点を見つめなおし、大型店と差別化を図り、そして変化するライフスタイルに対応できる新たな仕組みの創造が求められている。

商店街の活性化を図る当事業は、「生き残り」ではなく、より前向きで創造的な未来志向のもとに実施された。

#### 2. 事業内容

##### (1) 事業の目的

一店ではなかなかできない販促活動をお互いの強みを共有することで地元消費者への共同チラシを作成し、PRをする。





1) 登録状況

携帯電話メールアドレス 21人 FAX番号 58人

2) 事業がもたらした成果

新製品の紹介や各店独自の商品の情報提供を行い、携帯電話の情報でタイムリーに、確実に情報提供ができた。

地域中小商業者が消費者に対して自店のアピールを再考するきっかけとなり、きめ細かいサービスにつながった。

他店との差別化や、消費者ニーズの把握など、積極的な経営姿勢へ転じた。

不特定多数の消費者へのPRではなくモニターを募集し、携帯電話のメール、FAXを使った特定多数の消費者へ情報をタイムリーに提供することで、顧客の囲い込みやリピータを増やすことができた。

(2) 携帯電話利用モニターを対象とした「森町商店街情報発信アンケート集計結果(1回～3回)結果」(抜粋)

1) 回答者の年齢・性別

回答者で多かった年代は30代～50代の働き盛りの年代であり、性別では若干女性が多かった。

Q 回答者の年齢および性別

	20未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	男性	女性	合計
合計	24	24	113	77	87	53	6	178	206	384
%	6.3%	6.3%	29.4%	20.1%	22.7%	13.8%	1.6%	46.4%	53.6%	

2) 携帯・FAXを持っていますか

「携帯を持っている」と答えた回答者が全体の約8割に上ったのに対し、FAXは「持っている」「持っていない」回答者がほぼ半数に分かれた。

Q 携帯・FAXを持っていますか

	携帯電話		FAX	
	はい	いいえ	はい	いいえ
合計	297	87	198	186
%	77.3%	22.7%	51.6%	48.4%

3) 商店街のどのような情報がほしいですか

当設問では、「売出し」と答えた回答者が最も多く、約6割に上った。

Q 商店街のどのような情報がほしいですか

	売出し	季節商品	新製品	イベント	その他
合計	221	49	54	55	5
%	57.6%	12.8%	14.1%	14.3%	1.3%

4) 情報発信のサイクルは?

望む情報発信のサイクルは「売出しのつど」という回答が約45%に上り、半数近くの回答者がお得情報のタイムリーな入手を望んでいる姿が浮き彫りとなった。

Q 情報発信のサイクルは

	毎日	2,3日	1週間	1ヶ月	売出しのつど
合計	23	136	31	23	171
%	6.0%	35.4%	8.1%	6.0%	44.5%

5) 効果的だと思われる情報発信の手段は

当設問では、「FAX」と回答した割合が「電子メール」を大きく上回った。

Q 効果的だと思われる情報発信の手段は

	チラシ	電子メール	FAX	すべて
合計	85	109	169	21
%	22.1%	28.4%	44.0%	5.5%

上記の結果を踏まえ、当事業の運営の参考とすることができた。

【課題・反省点】

効果的な販促活動を行い、大型店と差別化していくには消費者に対して魅力的な情報提供をしていく必要がある。提供する情報の質や量、新鮮さが大切だ。また、きめ細やかなサービスも求められる。

このことから、今後当事業のより効果的な運営のためには

- (1) 事業者自らの手による積極的な情報更新
  - (2) 加盟店募集、消費者登録数の拡大
- といった課題に対処していく必要がある。

【関連URL】

森町商工会 <http://www.mori-shokokai.jp>